

広島県 高校入試情報

令和7年度広島県入試の全体傾向

傾向に変化あり！

●入試問題の構成と特色

○昨年まで4問構成であったが、今年は小問集合1問、物・化・生・地各1問の全5問となっている。

●出題傾向について

○実験・観察をテーマにしたものが多く出題されている。会話文を用いた実験設定文など、何が問われているか読み取る力も必要となる。
○記述問題が多いので、実際の問題量は多く感じる。

★広島県の入試は、『理科の新研究』でバッチリ！

■ 計算問題の出題

・計算問題が毎年出題されている。
基本公式をしっかりと覚えておく必要がある。

新研究で対策！

- 「即効チェック4 重要計算32」(p.172～173)と「入試実戦講座2 公式・計算問題」(p.180～181)で、重要な公式や法則を用いた計算問題の練習ができます。
- 「即効チェック5 グラフ10」(p.174～175)と「入試実戦講座3 グラフ問題」(p.182～183)で、グラフを用いた計算問題に取り組めます。

■ 実験・観察の基礎を問う出題

・基本的な実験や観察に関する問題が出題されている。実験や観察の目的、方法、結果などを範囲を問わず把握しておきたい。

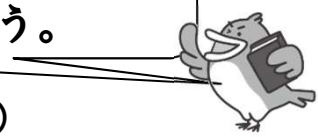
新研究で対策！

- 各単元の解説ページ「実験（観察）」で、操作の方法や結果などのポイントをわかりやすくまとめています。A問題で確認・練習することができます。
- 「特集 観察の基本操作」(p.12～13)「特集 実験の基本操作」(p.26～27)「即効チェック1 試薬・指示薬・基本操作20」(p.166～167)で、実験・観察時の注意事項を特集しています。

★新研究で出題した広島県の入試問題(令和7年度)

◆p.77 大問3「行動のしくみ」 ◆p.91 大問1「大気圧」

令和7年度広島県入試では、
計算問題が出題されました。
よく出る記述問題をおさえておきましょう。



★広島県入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

出題内容別の傾向	単元名／項目	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	1年内容				
出題内容別の傾向	植物のなかま			●	
	動物のなかま				▲
	物質の区別、気体の性質		▲		
	水溶液の性質				▲
	物質の状態変化				●
	光の性質	●			
	音の性質/力のはたらき	●	▲		
	火山と地震		●		▲
	地層と過去のようす		▲		
	物質の分解、原子・分子				▲
	物質の化学変化～酸化・還元、化学変化と熱～		●		
	化学変化と物質の質量		▲		
	生物と細胞/光合成と呼吸				
	根・茎・葉のつくりとはたらき/行動のしくみ				●
	消化と吸収				
	呼吸・血液の循環・排出のしくみ	●			
出題内容別の傾向	気象観測と空気中の水蒸気				▲
	天気の変化				●
	電流の性質				
	電流のはたらき			●	▲
	水溶液とイオン、電池とイオン	●		▲	▲
	酸・アルカリとイオン			●	
	生物の成長とふえ方		▲	▲	▲
	力と運動		●		●
	仕事とエネルギー				
	いろいろなエネルギー	▲		▲	
	天体の動きと地球の自転・公転	●		▲	
	太陽系と惑星			●	▲
出題形式別の傾向	自然界のつり合い		●		
	科学技術と人間/自然と人間		▲		
	大問数	4	4	4	5
	小問数	24	26	24	26
	記号解答	6	14	10	13
	短文記述	8	4	3	4
	計算問題	2	1	1	4
	図・グラフ、モデル	2	1	1	0

●…大問の主テーマとして出題された単元。 ▲…大問に1～2問程度出題された単元。